

享栄高等学校 PTAたより

平成31年2月21日
第107号
発行所
名古屋市瑞穂区
汐路町1-26
享栄高等学校PTA

祝卒業



PTA会長
山田 和弘

卒業によせて

卒業生の皆さん、おめでとうございませう。これからの人生は、何事も自ら積極的に自分で考え、選択し、決断し、行動することが、必要になります。その時に必ず多くの先生や友人に出会い、そして嬉しかった事や悔しかった事など享栄高等学校での3年間の色々な経験の全てが、皆さんの「人間力」の土台となると確信しております。皆さんの今後の大いなる活躍を心からお祈りいたします。

最後に、誠心誠意生徒達の指導



校長
長谷川 信孝

平成最後の卒業式を迎えるにあたって

生徒の皆さん、卒業おめでとう。皆さんは、小学校、中学校の卒業式と比べて、高校の卒業式をどのような想いを胸にして迎えようとしていますか。何より大きな違いは、今後皆さんを待ち受けている

にご尽力くださいました先生方、PTA活動に多大なるご理解とご協力を頂きました保護者の皆様方に、この場をお借りしまして感謝申し上げます。

ありがとうございます。

世界がとても多様だということではないでしょうか。

大学や短大或いは専門学校に進む人、就職する人、家業を継ぐ人、それぞれが未来に向かって、希望をふくらませていることと思います。そんな皆さんへ、私からのお願いは、自分の人生は自分で染め上げていってもらいたいということです。「あの人がこういったから、こうする」とか「みんなと同じにする」というのではなく、人生の節目、節目を皆さん自身の意志で決断して下さい。決断には責任が生まれます。責任を担ってこそ、自分自身の人生だと言えるのではないのでしょうか。皆さんが5年後、10年後いろいろな実社会で大いに活躍することを祈っています。また、今日までいろいろと後押しをしてくれた両親に対し「感謝」の気持ちを表すために「ありがとう」と言いましょ。最後に保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。この高校3年間様々な苦労があったかと存じますが、今こうしてお子様は、無事卒業を迎え喜びも一人のことと思います。私も教職員一同、

生徒達に卒業を迎えさせることが出来たのも、保護者の皆様のご協力のおかげと感謝しております。



副校長
村松 利之

卒業を迎えた皆さんへ送る言葉

母親が生前こう言っていました。（平成12年に他界）「あなたは今、先生をしてるけど、いい先生であるかどうかを決めるのは生徒さんだよ。それも、20年も、30年も後にね。」

毎年卒業生を送り出しますが、自分がいい先生だったかは未だに疑問です。ただ、自分がこうして職責を務めることができているのも、生徒のみなさん、保護者のみなさんのおかげだと思っています。感謝！

みなさんにも、「これからの人生を何事も『感謝』の気持ちで倍返し」の精神を持って、健やかに過ごして欲しいと願うばかりです。

卒業おめでとう。お元気で。



教頭
尼子 理志

卒業おめでとうございます。
晴れて卒業式を迎え、慶びとともに大海へ旅立つ君たちに、人生の先輩として一言申し上げます。
道元禅師の師である如浄の言葉に「雪裡梅花只一枝」と言う言葉があります。これは「今は皆、蕾もなく茨だらけだが、やがて一斉に花を咲かせるだろう、その花にこそ真実がある」という、仏道を歩む弟子たちへの励ましの言葉で、

苦難に耐えてこそ真実を掴むことができるという言葉です。苦難とは厳しい修行をすることだけを意味するのではなく、楽な道へ逃げず、真つ直ぐに歩みを進め、幸せを掴んで欲しいと願っています。たとえ自分の行く先にどのような障壁が立ちかはだかろうともそれら乗り越え、何年後か立派になつた皆さんとこの学び舎で再会できることを楽しみにしています。
最後になりましたが、保護者の皆様、この3年間本校の教育にご協力を賜りましたこと感謝申し上げます。ありがとうございました。



教頭
鈴木 良隆

卒業おめでとうございます。
保護者の皆様におかれましては、本校の教育にご理解ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。
さて、卒業生の皆さん。いよいよこの春からは、新しい環境の中での生活が始まります。選挙権年齢が18歳となつて3年目になり、

未来への創り手としての主体的な生き方がこれまで以上に求められています。「生きる力」として、そのために皆さんが身に付けてきたものが「学び続ける姿勢」です。享栄高等学校で培ってきた「学んだ力。(知識・技能)」、「学ぼうとする力。(意欲)」、「そして「学ぶ力。(学ぶ方法)」を活かし厳しい社会の中で活躍されることを祈念しています。



3学年主任
副担任
(7・8・15・16組)
中川 孝浩

3年生の皆さん、保護者の皆様ご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様におかれましては、3年間の本校の教育活動にご理解とご協力を頂きまして厚く御礼申し上げます。
高校生活に希望と不安を抱きながら臨んだ入学式の生徒達の顔は、今でも鮮明に覚えています。それ

からはや3年が過ぎ、卒業式を迎えることになりました。
思い出すと、色々なことがありました。日々の学校生活、乗鞍野外合宿、北海道修学旅行、文化祭や体育祭などの学校行事や進路に向けて努力したこと。それら全ては、友達や家族や担任の先生に支えられてやってこれたことと思います。周りに感謝し、3年間の経験を活かし、自分の進む道で頑張つて下さい。また会える日を楽しみにしています。





普通科文系
3年1組
鈴木 直也

卒業おめでとうございます。皆さんとは、1年生、2年生、3年生と同じ時間を共に過ごしてきました。振り返ってみると、長いようでとても短い時間だったと思います。すごく緊張していた入学式、たくさんの人と絆を深め

た野外合宿、同じ日本なのに食や歴史、自然の素晴らしさに魅せられた修学旅行。どれも宝物だと思います。皆さんが努力した結果ここにいることができています。しかし、一つ忘れないでほしいことがあります。それは、親への感謝の気持ちです。上手に気持ちを伝えられずに、ぶつかつたこともあると思います。けれど振り返るとそこには、いつも親の応援があつたのではないのでしょうか。忘れないでください。ありがとうの気持ちを。



普通科文系
3年2組
前川 進也

卒業おめでとうございます。3年間はどうかでしたか。特に3年生として過ごしたこの1年は、自分の将来について今までで、一番考え、進路実現のために努力したでしょう。この先思い描いた人生を実現させるのも、諦めるのも自分次第で

す。しかし、実は夢や目標を叶えるためには、自分らの力だけでは、難しいことが多くあります。その時に大切なのは、自分が「応援される人」かどうかです。素直な気持ちを持ち、謙虚な姿勢で何事にも一生懸命に取り組むことが「応援される人」の条件であると先生は考えています。遠くない将来、自立した大人になった素直な皆さんにお会いできる日を享栄高等学校で楽しみに待っています。保護者の皆さんも3年間、ご理解ご協力ありがとうございました。



普通科文系
3年3組
酒向 俊幸

皆さんは今、どんな気持ちで卒業を迎えていますか？夢や希望に満ち溢れていますか？安堵の気持ちですか？それとも不安ですか？

さて、満足できる人生を過ごすことは本当に難しい。心に夢がないとワクワクしないし、つまらない。ところが世の中は誘惑と挫折だらけ。自分の夢が叶うかどうかは、その夢にどれだけの「思い」があるかにかかっています。いくつになっても「熱い思い」を胸に、夢に挑戦する人生にして欲しいです。「卒業おめでとう」自分の力で幸せになつて下さい。父母の皆さんご協力ありがとうございました。



普通科理系
3年4組
佐々木 康治

「卒業おめでとう」です。享栄高等学校での3年間は楽しいことだけでなく、辛いことや大変なこともあつたかと思ひます。そのような思い出も将来振り返ると、「あの時頑張つて乗り越えてよかったな」ときつと思えるでしょう。

大切な皆さんへ、私が大切にしている言葉を送ります。「頭は低く、目は高く。口を慎んで、心広く。考を原点として、他を益する。」これは「どんなに偉い人間になつても礼儀正しく、目標は高く持ち、口は慎んで、心を広く持ち、親孝行を原点として他人に奉仕する」と言う意味です。これからは今まで以上に親を大切に、周りの人から必要とされる立派な大人になつて下さい。



普通科理系
3年5組
近藤 義高

みんな2年間で大きくなりましたね。君たちはどんなときもみんな一緒にたくさん笑いのあるクラスでした。もちろん愛想笑いもあつたことでしょう。けれど、笑っていられるという事は、一つの強さだと思っています。これから別々の道を

歩いていく中で、たくさん嫌なことがありますが。行き詰まつたりするときもあります。そんな時はぜひ笑つてみてください。どんなときでも乗り越えてやろうという気持ちで笑つてみてください。きつと大丈夫、うまくいくものです。担任からの無理難題も乗り越えてきた精神力と笑顔で、今後さらに大きくなつてくれることを期待しています。みんなの心からの笑顔、大好きです。卒業おめでとう。



普通科スポーツ
3年6組
遠藤 豪

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。保護者様におかれましては、3年間本校の学校教育にご理解、ご協力頂きありがとうございます。享栄高等学校で過ごした3年間はどのようなでしたか？

振り返ってみると初めての担任初めての卒業生なのでも思い入れがあります。3年間、君達と共に過ごしてきましたが辛いこともたくさん笑つたことの方が思い出に残っています。日々、過ごす時間の中で君達が成長する姿を見ることができて嬉しく思っています。これからは別々の道に進みますが、享栄の誇りを持つて頑張つて下さい。君達の担任で良かった。ありがとうございました。



商業科
(メディア2)組
3年7組
大矢 貴子

ご卒業おめでとうございます。学校を休むことも少なく、3年生の秋までは検定や進路に向けて沢山の努力を重ねました。個性豊かな生徒が多いこのクラスも、一人一人が成長し卒業を迎えます。

これから先の人生は楽しいとはばかりではないです。何があっても、諦めず、努力を惜しまず頑張ります。努力は必ず報われます。後を振り向かず前を向いて、未来を信じて進みましょう。もしも、道に迷った時は立ち止まり考えればよいです。辛いときはいつでも話を聞きますよ。ずっとみんなを応援しています。頑張れ。最後になりましたが、保護者の皆様には、御理解と御協力をいただき誠にありがとうございます。



商業科
(デザイン)組
3年8組
山田 秀和

ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様には、3年間にわたり本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございました。今年度は、「全員の進路決定」を目標に

掲げクラス運営をしてきました。時には叱咤激励し、なんとか目標を達成できたのではないのでしょうか。卒業後は、38名がそれぞれ進む道は違いますが、享栄生としての誇りを忘れずに、各自がさらなる飛躍をすることを期待しています。また、個性豊かな皆さんと過ごした2年間はとても良い思い出となりました。決して忘れることはないでしょう。そして、何年か後に全員が笑顔で再会できることを楽しみにしています。



商業科
(ビジネス)組
3年9組
今井 悠斗

ご卒業おめでとうございます。皆さんが享栄高等学校での3年間を終え、この日を迎えられたことを嬉しく思います。

日々の授業や学校行事を通して学んだこと、進路実現に向けて努力したことなど、様々な経験を経て、皆さんは確実に成長しました。高校卒業は人生の門出です。これから先、困難が立ちまわることもあると思いますが、高校生活で身に付けた知識や経験を生かし、簡単に諦めるのではなく、乗り越える努力をしてくださいます。社会への更なる活躍を期待しています。最後になりましたが、保護者の皆様におかれましては本校の教育活動にご協力をいただき、誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。



商業科
(ビジネス)組
3年10組
日野 隆徳

3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。乗鞍野外合宿に始まり、卒業式を迎えるまでに多くの思い出や人との繋がりで成長した皆さんの姿は、非常に逞しく、より大人に近づいたと感じます。

これから、皆さんが進む新たな道は大いに希望や期待のあるものではないでしょうか。しかし、変化の激しい社会生活の中で自己判断に迫られ、責任に対する不安や葛藤に悩むこともあるでしょう。その様な時は享栄高等学校での3年間を思い出して前に進んで下さい。皆さんの高校生活3年間は何事にも打ち勝つものであると確信しています。最後になりましたが、保護者の皆様には、多大なる御理解、御協力を賜り、心より御礼申し上げます。



商業科
(ビジネス)組
3年11組
岡本 泰典

卒業おめでとうございます。3年間の高校生活の中では特に辛いことや嫌なこともあったのではないかと思います。しかしその経験が今後の君たちを支える糧になっている

るはず。この先うまくいかないこともあると思いますが、3年間の経験を生かして乗り越えていってください。心は聞いた言葉でつくられる。未来は話した言葉でつくられる。炎の講演家・鴨頭嘉人さんがYouTubeで話しているのを見ました。「自分はできる！」と自分の可能性を信じて明るい未来を作ってください。



機械科
(マイスタ)組
3年12組
金田 進作

3年生の皆様ご卒業おめでとうございます。2年生の時から担任になり、気付けばもう卒業です。様々なことがありましたが、すべてのことが私にとってもかけがえのない経験になりました。

3年間の高校生活を終え、様々な思い出があると思います。時には楽しく、時には辛いこともあったと思いますが、すべての出来事があるた達のステータスです。この先それぞれ新しい道に進みますが、ふと何かあった時に高校生活を思い出してみて下さい。私自身も一緒に成長してきた皆さんの事を思い出して、成長を続けていきたいと思います。離れたところからではありますが、保護者の皆様と共に卒業生のこれからの未来を応援し続けたいと思います。



機械科
マイスタ
3年13組
谷出 基貴

月日のたつのは早いものです。ついこの間、皆さん方が入学されたと思えばもう卒業の時期になってしまいました。この3年間学業にスポーツ、そしてアルバイトに打ち込んで来られた姿を見てきました。その間に

費やした努力は並大抵のものではなかったと思います。お疲れ様でした。3年間の努力が実を結んで、それぞれ自分たちの道を見つけたらと思います。これからの人生、決して楽しいことばかりではありません。苦難の道を歩む人も居るかもしれませんが、それも人生の一つの糧となるのではないかと思います。何事にも気を落とさず、気を抜かず、この人生を楽しみ乗り切っていくて下さい。本当に3年間、お疲れさまでした。



機械科
マイスタ
3年14組
片山 一成

私自身もそうでしたが、特に高校時代の3年間は、人生において迷子の時期だったのかもしれない。自分の進むべき道がわからず、悩んだり焦ったり怒ったり。でもやつと出口が見つけられました。もう迷うことなく、しっかりと歩んで行きたいと思います。

さて、人が当たり前のことが当たり前でなくなつた時、他人から受ける愛情を素直に「ありがたい」と思えるようになります。保護されているという身分が当たり前であった18年間ですが、もうすぐその期間も終わります。社会に出て、甘えの許されない厳しい環境に置かれた時に、やつと「ありがたい」と自然に言えるようになります。今まで受けた愛情をこれから感謝の気持ちでお返ししていきます。

皆さんのご多幸とご健勝をお祈りしております。



機械科
マイスタ
3年15組
石田 和裕

3年生の皆さん、卒業おめでとうございす。まずは、保護者の皆様には3年間に渡り本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。私は卒業生と同じ年に本校に来ました。そして、初めての

卒業生を出すことになりました。3年間、この学年とともに過ごし私自身も多くの事を学ばせていただきました。人生は雪だるまに開いたことがあります。土台が大きければ大きな顔が上に乗ります。この土台は「支えてくれる人」です。多くの人に支えられて、卒業することができ、私も卒業生を出すことが出来ます。土台が大きければ大きな程、大きな成功をすることが出来ます。人とのつながりを大切に人生の成功者となって下さい。



機械科
アイティ
3年16組
薩地野 由晃

卒業おめでとう。2年間担任、クラスのみならず一緒に学校生活を過ごしてどうでしたか？2年生の時と比べたら、この2年間で大きく成長しました。個性豊かなみんなと、とにかく騒がしい元気の良いクラスでした。めんどくさい先生だつたと思つていますが、

楽しく過ごしてきました。ありがとうございます。これからみんな社会人になっていきます。気配り、心配りができる人間になってください。自らの行動し何事にも立ち向かう人になりなさい。あと高校で出会った友達は一生涯の宝物になります。大事にこれからも付き合い合っていくように。なにかあれば、助けてあげる友になつて下さい！

最後になりましたが、保護者の皆様には、享栄高等学校では3年間、担任として2年間でしたがご理解とご協力、心から感謝いたします。



普通科
（躍進選抜）
3年17組
成瀬 龍治

卒業おめでとう。それぞれの将来に向けて旅立つ皆さんには期待もあれば不安もあると思います。「守破離」と言う言葉があります。これは「教えを守り、いつしかそれを打ち破り離れていくことも大切だ

が、基本を忘れてはならない」ということです。皆さんは日々の学習だけでなく、先生や友人との関わりの中で様々なことを学び、社会で生きるための基本を身につけて独立しようとしています。しかし、この先で困難に直面したら、高校生活で学んだ基本を振り返ってみてください。きつと問題解決のヒントになるはずです。

最後になりましたが、保護者の皆様の多大なるご協力に心から感謝申し上げます。



普通科
（特進飛翔）
3年18組
石田 梓

ご卒業おめでとう。この3年間、本当に勉強ばかりの日々でしたね。その中で、悩み、落ち込むこともあったかと思ひます。ただ、私にとつて、高校での3年間は間違いなく人生の中で一番学びの多

い時期でした。いくら努力しても周りに追いつけず、自分の力の限界を知ったこと。将来の目標が決まらず、悩んで悩んでそれでもやり切るしかない決めたこと。同じ悩みを共有する友達と出会い、語り合ったこと。将来、自分の人生を振り返った時に、皆さんにとつてこの3年間は、そのような重みを持つ3年間でありたいように。

「人間は考える葦である。」多くのことに触れ、多くのことを感じ、大きな人間になつて下さい。



副担任
(1・2組)
佐川 貴之

卒業おめでとうございます。卒業生の皆さんとは主に進学指導の立場で関わる事が多かったですね。志望校を選択し受験する過程で真剣に悩み、実現のために努力することができたのではないのでしょうか。時には受験で思うような結果が出なくても、あきらめずに努力を続け、合格して喜ぶ姿を見ることができたのは、とても嬉しかったです。思えば楽しい高校生活だけでなく、様々な苦悩や挫折もあった事でしょう。それらを克服し、卒業の日を迎える皆さんを心から祝福します。

これからは、それぞれが新たなステージへと向かいます。人生を全力で向き合い楽しみ、学んでください。必ず人生の糧となります。今後の活躍と幸せを願っています。



副担任
(3・4組)
塩崎 勇喜人

卒業おめでとうございます。卒業に当たって森信三先生(明治29年(平成4年)の教えを餞として贈りたいと思います。

「時を守り、場を清め、礼を正す」この言葉は、森先生が職場再建の三原則として

て称えられた言葉ですが、ごく当たり前の事なので普遍性は高いと思います。「時を守る」とは約束を守ることであり、「場を清め」は環境や身なりを整えることである。「礼を正す」とはただ単に大きな声で挨拶したり、深々とお辞儀をしたりすることではなく、心を込めて相手を敬うことだと思えます。その気持ちがあれば、自然と謙虚になり他人から信頼されるようになると思えます。自戒の意味も込めてこの教えを贈りたいと思います。



副担任
(5組)
田中 邦彦

卒業おめでとう。3年間の成果を糧に、新社会へと飛び立つ人たちに、読書の案内を、一冊、したいと思えます。

今、世界では、196の国がありますが、水道水が飲める国は、たったの15か国です。アジアでは、日本とアラブ首長国連邦の2

か国のみです。折しも、国会では、水道事業の民営化を可決。世界では、民営を公営化へと切り換えているそうです。なぜか？その疑問が解ける書籍です。ぜひ、社会人となる人達に読んでほしいです。幻冬社新書で、堤未果さん著作の、「日本が売られる」です。水が自由に飲める事が、有難い事です。高校3年の時の、暑い夏を思い出しながら読んでみてください。



副担任
(6組)
野地 雄次

ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様方には、3年間本校の教育活動にご理解とご協力を頂き厚く御礼申し上げます。卒業という事で嬉しい思いと寂し

い思いがありますが、次のステージに向けて享栄高等学校で学んだことを最大限発揮していただきたいと思えます。これからは一人の大人として自分の可能性を信じて「人生の成功者」となるように自分の信じた道で精一杯努力してください。今までありがとう。そしてこれからよろしくお願ひ致します。



副担任
(9組)
中道 剛

卒業目前となり、享栄高等学校を巣立つべく卒業生の皆さん、次の段階の準備は大丈夫ですか？高校卒業後はそれ

ぞれの人生を歩み始めます。前途有望な人生を歩んでいただきたいと思えます。最後にこの言葉を送りたいと思えます。「幸せは自らの手で見つけるもの」「幸せは自らの手で掴むもの」です。幸多き人生であることを願っています。がんばってください。



副担任
(10組)
稲熊 誠

卒業おめでとうございます。高校3年間で大勢の友達と出会い、様々なことに取り組み、多くのことを学んだと思えます。この3年間の経験を糧にして、これからの人生を歩んでほしいと思えます。現在は情報化社会です。昨日までの知識は今日では古びたものになるばかりか、

今日の新発見の後では間違になることもあります。生涯学習と言われるように、絶えず勉強し続けていかないと社会の発展に取り残されてしまいます。学びの場は学校だけではなく、社会に出てからもたくさんあります。自分自身を向上させるために卒業後も日々研鑽をしてください。「真理を知りなさい。そうすれば、自由になれるだろう。」真理を追求し、社会に貢献してください。



副担任
(11組)
豊永 真美

そのままの自分を認め受け入れ、自分を尊重して自らの価値や存在意義を肯定できる感情「自己肯定感」といいます。自己肯定感が高ければ、人生における様々な出来事に対して積極的に取り組んでいくことが

できます。そんな人になるためには、感謝の気持ちが大切だそう。世の中成功した人物は皆、周囲への感謝を口にしています。周囲への感謝の気持ちがあればあるほど不思議と活力がわき、状況が好転すると、何人もの成功者が語っています。何かに感謝をするという心の働きが、心の余裕やエネルギーを生むということではないでしょうか。あなたたちは皆それぞれ素敵なところを持った素晴らしい人々です。あなたが大切にしよう。



副担任
(12組)
松本 亮一

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様方におかれましては本校の教育活動にご理解とご協力を頂きまして厚く御礼申し上げます。卒業生の皆さんは、高校生活に別れを

告げ、それぞれ新しい道へ進みます。行く先で、辛い苦しい困難な壁に当たることがあるかもしれません。その時は高校生活を思い出して、皆さんが培ってきた力を駆使し、全力で壁に立ち向かってください。その先には数多くの新しい発見が必ずあります。希望に満ちた人生を自らの力で切り拓いていってください。最後になりましたが、皆さんの健康と健康を心よりお祈り申し上げます。



副担任
(13組)
青山 昂平

3年生の皆さん、御卒業おめでとうございます。3年間というものは、あっという間に過ぎていき、数々の楽しい思い出や辛かったこと嬉しかったことがあったと思います。この時間は決して無駄なものではな

く、君たちの頑張りと活躍だけでなく、人としての成長もあつたと大きく感じています。これからは社会人として進学もしくは就職先で頑張っていくと思いますが、何事においても日々精進していつて欲しいと思います。これまで自分が周りの人の力を借りてきて成長したことや、学校で学んだことを思う存分発揮し、これから先の新しい道でも頑張りと活躍されることを心より願っています。



副担任
(14組)
山林 唯

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今年も卒業の季節が来てしまいました。月日が経つのは本当にはやく感じます。今年の3年生は、個性的で素直な心を

持った人が多いと思っています。1年生の頃から関わっている生徒が大きく成長し卒業して行く姿を見るのは大きな喜びであり、悲しみでもあります。この季節に感じる独特の寂しさがあります。享栄高等学校を卒業し、新しい世界に飛び込む皆さんが困難を乗り越えながら更に大きく成長していくことを心より願っています。



副担任
(17組)
宮崎 夏澄

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様方におかれましては、3年間本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心から御礼申し上げます。3年間の高校生活はどうでしたか。楽し

いことや嬉しいことがたくさんあつた反面、辛いことや苦しいこともあつたのではないかと思います。しかし、それらを乗り越えてきたからこそ今の自分があります。辛いことや苦しいことも、5年後に振り返ってみると、貴重な経験となつていることと思います。これから皆さんは新たな道に進むこととなりますが、皆さんの経験を、立派に成長していきたく思います。最後に、今後の皆さんの健康と活躍を心より祈っています。



副担任
(18組)
市村 佳子

勉強漬けの毎日、3年間変わらないクラス。多くの課題に追われ、自分自身とクラスメイトと向き合う日々。教員の想像以上に大変なことも多かったと感じています。それでも誰一人欠けることなく全員

で卒業できることを本当に嬉しく思います。そんな皆さんに心から「卒業おめでとう」の言葉を贈ります。これからそれぞれの道を歩んでいきますが、高校生活でこれだけがんばった皆さんだからどんな状況に置かれても乗り越えられると信じています。陰ながら応援しています。最後になりましたが、保護者の皆様には3年間、ご理解とご協力をいただき、誠に有り難うございました。

ご卒業おめでとうございます 生徒会一同

生徒会長 中上 優志

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。進学する人や、就職する人など、人それぞれだと思います。高校生活で得た経験を活かし、どんな事があっても乗り越えていってください。進学先や就職先での活躍を心から祈っています。文化祭の日には是非遊びに来て下さい。2年間ありがとうございました。

副会長 原田 愛梨

高校3年間過ごした日々はどうでしたか？

卒業される皆さんは、それぞれの道に進まれると思います。

そして先輩の皆さん、2年間ありがとうございました。1年生の時困っていたら助けていただきありがとうございました。先輩から教えていただいたことをこれから活かしていきたいです。

副会長 水野 絵美

享栄高校を卒業して、進学や就職など様々な道に進むと思います。大変で辛いことも多いと思いますが、享栄高校での3年間の経験を活かし、力強く頑張ってください。皆さんのこれからの活躍を期待しています。

書記 秋山 こころ

この3年間で色んな事があったと思いますが、高校生活はどうでしたか？

皆さんが学んできた事は、これから挑戦していく中で大きな力になると思います。

その力を活かし、今後の就職先や進学先でも頑張ってください。

書記 坂野 麻緒

3年間、享栄高校での学校生活は楽しめたでしょうか？

色々な想いが生まれた高校を離れ、一人一人違った道を歩んでいくと思いますが、これからも頑張ってください。

1年間ありがとうございました。

会計 門嶋 陸

3年生の皆さんご卒業おめでとうございます。

私が、これまで学校生活を有意義に過ごすことができたのは3年生の先輩方のサポートのおかげです。先輩方が卒業された後は、私たち2年生が主体となって、学校を動かしていきたいと思っています。

文化常任委員長 大崎 翔平

この度は、ご卒業おめでとうございます。高校生活での3年間、充実した日々を過ごせましたか？

卒業生の皆さんはそれぞれ一人一人違う道へ進み、新しい仲間ができると思います。辛いこともあるとは思いますが、辛い時は享栄高校での楽しい日々を思い出してください。今後とも応援しています。

運動常任委員長 戸谷 大輝

享栄高校での3年間はきつと進学先、就職先で役に立つと思います。今後、様々な困難や辛い事があると思いますが、楽しかった享栄高校を思い出してください。また、この享栄高校での経験を活かして新しい学校、職場での活躍を心から祈っています。

3年間お疲れ様でした。

風紀常任委員長 青山 星琉奈

3年生の皆さんご卒業おめでとうございます。

高校生活はどうでしたでしょうか。きつと楽しかった事や、辛い事があったでしょう。これから、進学、就職先などで、また辛い思いをするかもしれません。その時は、享栄高校で過ごした3年間の思い出してください。短い間でしたがお世話になりました。

厚生常任委員長 金子 雄太

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

享栄高校で学んだ3年間は是非、これからの進学先や就職先で活かしてください。

尊敬する素敵な先輩方の背中を追いかけて、私も頑張っていけます。3年生の皆さんも頑張ってください。

栄進文理スポーツクラス

修学旅行を終えて

二年六組 杉本 力也 先生

スポーツクラスの修学旅行は、スポーツ交流を兼ねてグアムへ行ってきました。クラスには海外どころか飛行機に乗ったことがない生徒が大半であったため出発する前は、心配の方が勝っていました。しかし、その様な心配は杞憂に終りました。現地到着後の生徒達は、教員の指示をよく聞き、マナーを守って行動することが出来ました。またビーチアクティビティでは時間を忘れ、クタクタになるまで遊びまくり、現地高校生とのスポーツ交流では、拙いながらも英語やポディーランゲージを駆使し、積極的にコミュニケーションを取ることが出来ました。

生徒達は修学旅行を通してまた一段と成長しました。更に成長出来る様スポーツクラスとしての自覚を持ち、生徒共々成長し続けたいと思います。



修学旅行の思い出

二年六組 竹中 駿平

「将来は留学して、海の向こう側で生活してみたい。」そんなことを僕に思わせてくれたのは、グアムの壮大な絶景と温かい人々だ。海は、燦々と太陽の照る時、厚い雲に覆われた時、土砂降りのスコールの時、どれも全く違う顔を見せてくれた。まるで人間の喜怒哀楽のようだった。グアムの透き通った海が大好きになった。

グアムの人々は本当に気さくで温かい人ばかりだ。スポーツ交流をしたセントポール高校の生徒とは、自分自身の足らない英語とジェスチャーを使って、なんとか思いを伝えた。コミュニケーションを取ったり、一緒に昼食を食べた時間はあっという間で、別れが恋しくなった。グアムでの思い出は最高の一言では表せない。

